

# 次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト 次世代空モビリティの安全認証および 社会実装に求められる性能評価手法に関する研究開発

## 研究開発内容

次世代空モビリティの許可承認や運用に必要な安全性に関する証明／認証方法を研究開発し、航空業界の標準化のコミュニティと協調し、国内外で標準化活動を実施する

## 研究開発成果

- ①無人航空機の第一種/第二種の機体の認証に関する文書開発
- 航空局ガイドライン(第2種)の解説書を発行(2024年3月)



解説書作成のためにワークショップ等を実施



解説書ダウンロードWeb

- ②無人航空機の運用に必要な安全管理に関する研究開発
- 個人保護具の有効性調査を実施
  - 必要性能を産業界と議論

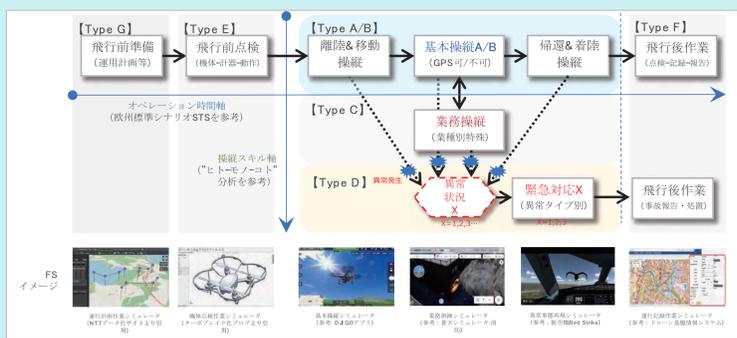


ドローン運用に必要な個人用保護具の実験実施

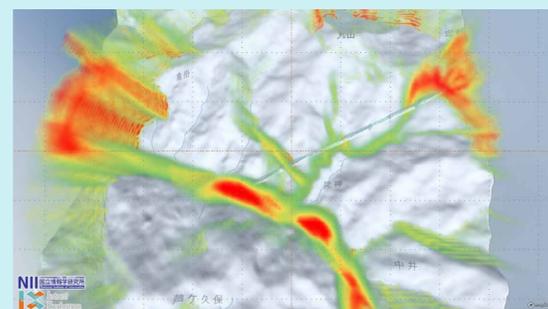


実験動画

- ③無人航空機のフライトシミュレータの安全認証に必要な要件の研究開発
- 業務フレームワークを整理し、シミュレータに必要な要件を抽出



- ④無人航空機の運航の安全性の評価法の研究開発
- 地上リスク評価のデジタル化
  - 空中リスクのモデル検討



地上リスク評価の三次元表示例

## 今後の取り組み

無人航空機の合理的な安全確保による社会課題解決と産業拡大の同時達成を目指す

- リスクに応じた各要素の要求を統合した標準シナリオを開発
- ユースケースを設定し、具体的なリスク事例を元に統合的な安全管理、適切な制度の探究を実施

## 体制

- 【委 託】 国立大学法人東京大学(①②③④)、国立大学法人長岡技術科学大学(②)、国立大学法人筑波大学(③)、Intent Exchange株式会社(④)  
 【再委託】 一般財団法人日本海事協会(①)、公立大学法人会津大学(①)、株式会社電通総研(①③)、国立大学法人一橋大学(②)、学校法人慶應義塾(②)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(④)、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所(④)、国立情報学研究所(④)